

平成17年度 京都市立学校事務研究大会要項

- 1 大会テーマ 共に創造しよう明日の学校事務を
- 2 目的 教育の充実発展にむけて、学校事務職員が果たす役割の重要性を再認識し、創造性豊かな研究と実践を進め、学校事務の確立を目指すとともに、資質の向上を図る。
- 3 主催 京都市立学校事務研究会
- 4 後援 京都市教育委員会
京都市小学校長会
京都市立中学校長会
京都市立総合養護学校長会
- 5 期日 平成18年2月7日（火） 午前9時20分開会
- 6 会場 京都市総合教育センター
永松記念ホール（4階大研修室）
京都市下京区河原町通仏光寺西入
TEL 075-371-2340
- 7 参加者 京都市立学校事務職員・事務員及び関係機関団体の職員
- 8 日程

9:00 9:20 9:50 11:20 12:20 13:30 16:30 17:00

受 付	開 会 行 事	全 体 会	講 演	支 部 活 動 報 告	昼 食	全 体 会	担 当 者 会 議
--------	------------------	-------------	--------	----------------------------	--------	-------------	-----------------------

9 概 要

[午前] 全体会

(1) 講 演

演題 『人と人が結びあえる社会であり続けるために』
～学校への要望, 苦情 そして「イチャモン」～

講師 大阪大学大学院・人間科学研究科
教授(教育学博士)小野田 正利 氏

(2) 支部活動報告

[午後] 全体会

「学校にいてこそ事務職員」～私の取組・実践談(預り金)～
討議の柱

- ① 事務職員の関わりによる教育効果
- ② 保護者・地域社会への情報発信と説明責任

10 参 加 費

- (1) 本研究会員以外の京都市学校教職員の方 資料代 2,000 円
(2) 他府県の方 (事前申込) 参加・資料代 2,000 円

※参加費については当日受付にてお支払いください。

11 そ の 他

本会インターネットホームページでも大会要項をご覧ください。

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/nagamatsu/kenkyukai/jimuken/>

12 問い合わせ先

京都市立石田小学校 事務室 増田 千恵子

TEL (075) 572-1411 FAX (075) 572-1482

〒601-1437 京都市伏見区石田森西24

E-mail: jimuken@edu.city.kyoto.jp

13 交通の案内と地図

会 場 京都市総合教育センター

京都市下京区河原町通仏光寺西入

TEL 075-371-2340

— 交通の案内 —

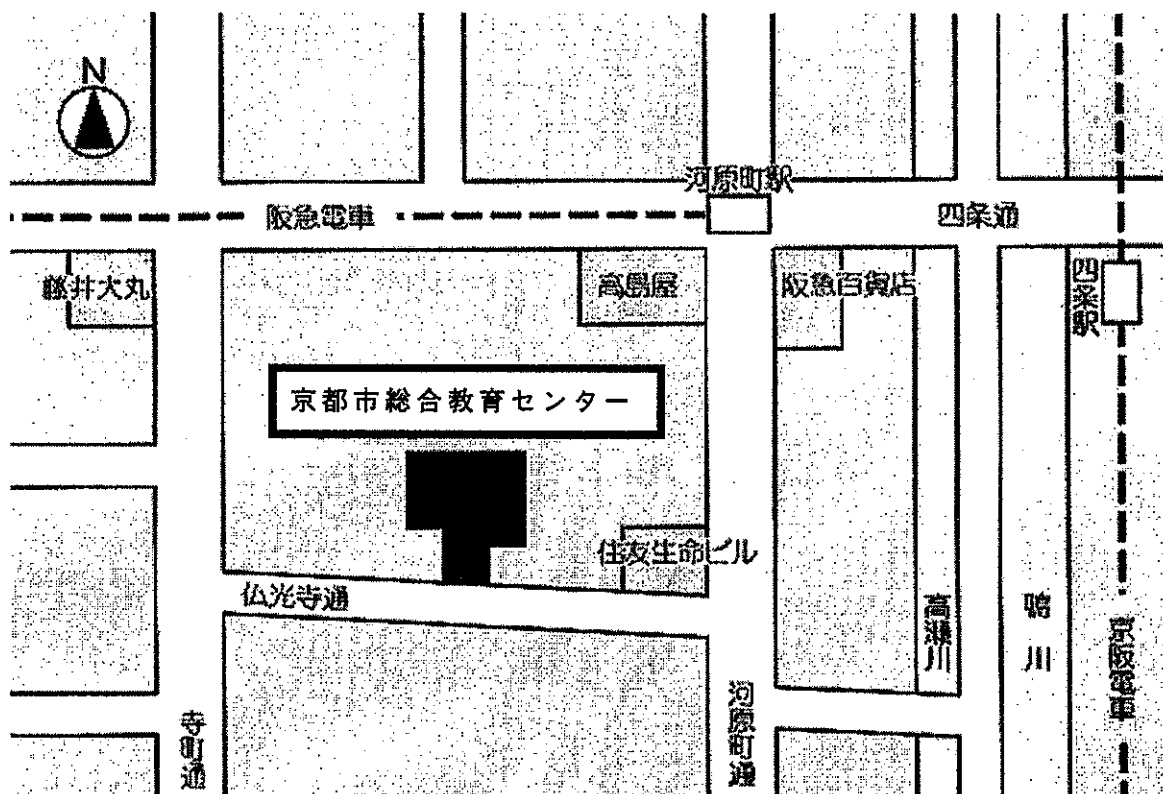
市バス(河原町四条) 徒歩約 5分

阪急電車(河原町) 徒歩約 5分

京阪電車(四条) 徒歩約 10分

京都駅より市バス約 15分(¥220) 徒歩約 5分

〃 タクシー約 10分(河原町^{ひわらまち}仏光寺^{ぶつこうじ}下車 約¥800) 徒歩約 1分



※駐車場がありませんので、自動車でのご来場はご遠慮ください。

※会場の京都市総合教育センターは通常の業務を行っていますので、
研究大会のお問い合わせはできません。

1.4 他府県の方の申し込みについて

(1) 申込方法

事前に申し込みが必要です。必ず、「本研究会インターネットホームページ」にてお申し込みください。

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/nagamatsu/kenkyukai/jimuken/>

受付が完了しましたら、Eメールにて案内を返信いたします。そのメール本文を参加証とさせていただきますので、プリントアウトし、大会当日受付にご提出ください。

※なお、他府県の方の参加受付はインターネットのみとさせていただきます。ご了承ください。

(2) 受付期限

平成18年1月20日(金) 厳守

(3) その他

①会場の永松記念ホール(定員約400名)の定員を超えた場合は別室での参加となります。また、当日参加につきましては定員の関係でご希望に添えない場合がありますので予めご了承ください。

②万一、2月2日までに「参加証」が届かない場合は、お手数ですがご連絡をお願いいたします。

■ 講師プロフィール



小野田正利

おのだ・まさとし 1955年、愛知県生まれ。50歳。
大阪大学大学院教授・人間科学研究科、学部名は人間科学部

名古屋大学法学部を卒業し、大学院は教育学へ。長崎大学教育学部で13年間教えたが、金八先生のようだとされた。当時の教え子たちは、九州各地の小学校や中学校の教師になっている。

師になっている。

9年前に、思いもかけず阪大から「ちょっと変わっているようだからウチへこい」と言われた。「これで551の豚まんが毎日食べるな」、という思いと「探偵ナイトスクープ」がちゃんとリアルタイムで放映されていることの魅力から阪大へ。阪大助教授を経て現在は、教育制度学研究室の教授。教育に関する制度や環境、行政や政策そして法律などを専門領域としている。研究者よりは、いつでもどこでもGTO (Great Teacher ONODA)でありたいと思っている。反町隆史は GREAT TEACHER ONIZUKA ですが、わたしはONODAです。

比較のためにフランスの学校と教育の研究をちょっとだけやりつつ、日本の学校と教職員の“等身大の姿”を明らかにすることを自分のライフワークとしている。『片小ナビ〜保護者のための片山小学校ガイドブック』づくり、学校讃歌ブックレットシリーズの発行、イチャモンの研究、保護者のうわさ話の研究など、阪大の教育制度学研究室は、東大とも京大の研究室とは相当に違う独自の「どろをさらい、地をはう路線」を追求している。

余談ですが、昨年9月10日（金）放送の探偵ナイトスクープに、ついに出演しました。「おばちゃんは魔女?!」というタイトルで、近所の子どもが、うちのかみさんが魔女の学校に通っていると信じ込み、魔女の学校に入れてくれと言い出しました。そこで困ったうちの妻が依頼者になりましたが、最後はクレーン車につりさげられて魔女のかっこうをして空をとばされていました。